

理念を語る

あたたかいおもてなしの「心」が
思い満ちる一日を創ります。

当法人は設立より変わらぬ思いとして「共に歩む」の精神を礎に、「希望におきて感謝に眠る一日の幸」を応援しております。誰にでもいつかは訪れる「老い」に対して、切なさや侘しさではなく、笑顔をもって一日一日を共に過ごし、そしてその日にしか感じるこのできない幸せを、ご利用者様、ご家族様、そして職員の皆様と共に歩みながら過ごしていければと願っています。

ご利用者様がいくつになられても、喜びや安らぎを持ち続けられる笑顔を大切に、心豊かにする食事の提供を大切にします。そして心地よい環境での癒やしの時間を大切にします。地域福祉の担い手として、地域に根ざしたご利用者本位のサービスを、職員一同皆で実践して参ります。

理事長
小松 瑞樹



最新の情報と取り組みが満載「平成会通信」

“介護のいまを知り、未来を創る”平成会の広報誌を、年4回発行しています。平成会の取り組みや活動レポートなどの特集記事、多彩なニュースを伝える「平成会タイムス」、各施設の様子を知るページやレシピコーナーなど、充実の内容です。



社会福祉法人 平成会

〒399-6461 長野県塩尻市宗賀1298-92
TEL.0263-51-6610 (代) FAX.0263-53-5828

ぜひ、ホームページをご覧ください。

<https://www.heisei-kai.jp/> 平成会 検索



■関連法人

医療法人社団 敬仁会
桔梗ヶ原病院



- 介護老人保健施設 まほろばの郷
- 介護老人保健施設 萌生の里
- グループホーム まほろば

〒399-6461 長野県塩尻市宗賀1295

TEL.0263-54-0012 <https://www.keijin-kai.jp/>

学校法人 松樹学園



学校法人 松樹学園
信州リハビリテーション専門学校

〒399-6301 長野県塩尻市黄川1215-2

TEL.0264-34-1023 <https://syoujyu-g.ac.jp/reha/>



学校法人 松樹学園
信州介護福祉専門学校

〒399-0733 長野県塩尻市大門三番町4-24

TEL.0263-87-0015 <https://syoujyu-g.ac.jp/kaigo/>

※表紙の樹のイラストについて：利用者様にとっても職員にとっても「拠り所」となる法人を、大きな樹に見立てました。法人のさまざまな取り組みは複数の色でイメージしています。また、新しく仲間となる新入職員の成長していく様子も表しています。



このリーフレットは、環境に配慮し、FSC®認証紙および植物油インキを使用しています。

平成会 スタイルBOOK

「共に歩む」平成会の取り組みをご紹介します。

人に、社会へ。

Heiseikai
Style Book

社会福祉法人 平成会

平成会は、ますます加速する少子高齢化時代の介護福祉を見据えた「さまざまな挑戦」を続けています。私たちが目指すのは、法人と地域の介護福祉の向上です。そのため、やさしさを伝えるケア技術「ユマニチュード®」を標準化し、高度なケア技術の修得や先端テクノロジーの導入により、高品質なケアの提供と働きやすい職場環境の実現に取り組んでいます。社会環境の変化を受けとめ、進化を止めない『平成会スタイル』をご一読ください。

法人理念

「共に歩む」のもと
誰もががしあわせに暮らせる
地域づくりのために何ができるのか
平成会は常に考えています。



高品質ケア

ユマニチュードを標準ケアに	03・04
「食」へのこだわりを実践	05・06
KTSM・シーティングの推進	07・08
テクノロジーとケアの融合	09・10
安心・安全への備え	11・12

新しい介護の職場を目指す

「働き方改革」を推進	13・14
スキルアップ&資格取得支援	15・16
福利厚生 の 充実 に 取 り 組 む	17・18
「共に歩む」共生社会の介護へ	19・20
事業・施設紹介	21・22

やさしさを伝える技術を
身につけることが大切です。



humanitude

※HUMANITUDEおよびユマニチュードの名称およびそのロゴは、日本およびその他の国における仏国SAS Humanitude社の商標または登録商標です。

ユマニチュード®の実践と啓発により、 法人と地域の介護ケアの向上を目指します

「介護は心」実践のためにユマニチュードを 標準的ケアとして考えます

平成会は「介護は心」の行動指針をもとに、従来のケアからユマニチュードケア技法への移行を進めています。今後は、法人の標準的ケアとなります。

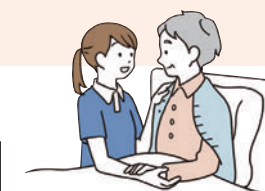
また、誰もがしあわせに暮らせる地域づくりに貢献するためにも「ユマニチュードの精神と技法」が重要だと考え、平成会スタッフ以外の一般の医療・福祉に携わる皆様にも研修を推奨し、地域全体への高度認知症ケアの普及に取り組んでいます。



ユマニチュードによる関係性の向上によって、介護現場の 環境が大きく向上します

職員一人ひとりの経験・個性・資質に関係なく、誰もが同じメソッドを学んで実践できるユマニチュードは、「うまくいかないのは自分のせいではないか」と悩み、介護の仕事をつらく感じてしまうような職員を生まないための選択でもあります。

気持ちや人間性を変えるのは難しいことですが、ユマニチュードを学ぶことで「やさしさを伝える技術」を身につけることは誰でもできます。それによって、ケアを行う人とケアを受ける人との関係性が向上し、絆が育まれます。相手がどんな状況であってもそんな絆があれば、相手を気遣っていることを伝えることができます。



ユマニチュードは、相手に対する自分の行動がすべて「あなたのことを大切に思っています」というメッセージになるように、「見る」「話す」「触れる」「立つ」をケアの4つの柱としたケア・コミュニケーション技法です。



ユマニチュードの全国大会で
表彰された平成会



6施設が、ユマニチュード 「ブロンズ認証」を取得

2023年、長野県で初めて「介護老人福祉施設さわらび」が、一般社団法人日本ユマニチュード学会により、ユマニチュード「ブロンズ認証事業所」に認められて以降、「有料老人ホームせせらぎ」「介護老人福祉施設福寿苑」「介護老人福祉施設松風」「介護老人保健施設わかな」が次々にブロンズ認証を取得。現在も、グループホームをはじめ多くの施設で認証に向けた取り組みを行っています。



毎日の幸せな笑顔を
つくるのは、
美味しい食事と
楽しい会話です。

「食べる」喜びを応援

季節料理や郷土料理を大切に考え、管理栄養士が食材を厳選し、旬の素材を使ったワンランク上のお食事のご提供に取り組んでいます。また、器や盛り付けも美味しい食事にとって大切な要素であると考え、陶器や漆器の器に、美しく盛り付けられた献立づくりを実践しています。



旬にこだわった季節の行事食や 趣向を凝らしたお誕生日会食など、 豊かな時間を創ります

鍋物、炊き込みご飯、パン、ラーメン、パスタ、そばなど、バラエティ豊かな献立、季節料理や郷土料理を取り入れた献立など、楽しく充実した食事の提供を目指しています。

また、趣向を凝らした本格ディナーのクリスマス会食やシェフが会場で調理・給仕する誕生日会食や、ご家族もご招待し食事を楽しんでいただく家族会など、楽しい食事のひとつきを過ごしていただくための企画づくりに努力を惜しみません。



年1回開催、栄養部主催の
「食器購入会」

美味しい食事を引き立たせる「器」の選定を目的とした「食器購入会」を年1回開催しています。食を管理するスタッフにとって、ここでの器選びも大切な仕事です。



季節を感じるさまざまな食事企画

春の山菜、お花見、夏鮎、土用のウナギ、さんま、きのこ、新そば、お餅つき、鍋物、お正月、お抹茶会など、四季の行事や日々を彩る旬の食材を楽しむさまざまな食事企画（フェア）を実施しています。

高度ケア技術の導入を
推進しています。

高品質なケアを提供するため、エビデンスのある最新の食事介助・座り姿勢の改善技術を学び、法人全体で普及を進めています。

食事介助の先端技術で 「口から食べる幸せ」を追求

摂食嚥下に課題があり、口から食事を取ることが難しくなる要介護高齢者が増え、よりよい食事ケア技術の習得は必要不可欠となっています。

外部講師の協力により、声のかけ方や座り方、食器の扱い方、高機能スプーンの使用など、科学的根拠に裏付けされた最先端の食事介助技術の研修を行い、「食」のサポートの質向上に取り組んでいます。



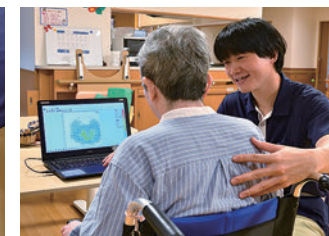
共に取り組み続け、
全国大会共催へ

最先端の食事介助を学び、実践に努めてきた平成会。首都圏で行ってきた「口から食べる幸せを守る会」全国大会を「今後は地方で」との意向を受け、2023年に地方開催初となる全国大会が、平成会特別協賛にて県内で開催されました。

寝たきりにしないケア「シーティング」の普及と導入推進

車椅子やベッド上で見られる「座り方の乱れの原因」を把握して取り除くことはとても重要です。

視覚的に数値分析できる体圧測定器を使用することで体圧情報をスタッフで共有し、車椅子やクッションの選択を変えるなどして「座る姿勢」の改善を図るシーティング技術は、痛みのない座り姿勢を保ち、利用者様の快適な生活を支援することにつながります。



シーティング普及に向けたオリジナル 「シーティングガイドブック」を作成

シーティングが利用者様の生活の質に関わる重要な要因と捉え、日本におけるシーティング技術普及の第一人者である木之瀬隆先生(※)監修にて、平成会オリジナルの「シーティングガイドブック」を作成。法人内だけでなく、介護・医療のさまざまな場面で活用されることを期待しています。



日々の改善とケアの向上をプレゼンする事例発表会

ケア技術等をテーマに、年に1回、各施設・事業所の取り組みの成果を発表する「事例発表会」。各発表内容は、法人全体で共有され、優秀な事例は表彰されます。参考になる取り組みは、各施設にフィードバックされ、ケアの質の向上につながっています。

※木之瀬 隆：株式会社シーティング研究所代表、日本車椅子シーティング財団代表

さまざまな
テクノロジーの導入で、
ケアを受ける人と働く人の
両方に無理のない
介護環境を実現します。

タブレットで行う介護記録、職員間の連絡を取りやすくするインカムの導入など、デジタル技術を活用し、さまざまな場面で職員の負担を減らし、働きやすい環境づくりを常に考えています。

全施設で「タブレット」を導入

介護の現場では利用者様お一人ずつの介護記録を残す必要があり、手書き記録では、非常に多くの時間と労力を割いていました。これをタブレットでの入力に変更し、ペーパーレス化することで、記録に要する時間がこれまでの1/3程度に減りました。

記録だけでなく、タブレット利用のウェブ会議、研修、朝礼などで活用。会議は録画し、出席できなかった職員も後日視聴して情報共有するなど、さまざまな用途でタブレットを活用しています。



見守り支援介護ロボットの導入

利用者様の心拍、呼吸、体動、離着床、睡眠の状態などを、離れた場所から24時間見守ることができる、マット型の見守り支援介護ロボットを導入。ベッドマットの下に敷くだけで、離れた場所から利用者様の状態をモニタリングできます。



睡眠状態、離着床、アラート履歴は自動的に保存され、30日分のデータが蓄積されるため、夜間の訪室や体位変換などの適切なタイミングを図ることができ、睡眠状態も確認できるためケアプラン作成に役立ちます。



AI歩行トレーニングロボットが活躍

ハンドルを押す力をAIが解析し、一人一人に最適な運動負荷で、効果的な歩行トレーニングが行えます。軽いブレーキをかけたような運動負荷によって、歩行に有用な筋肉を効率的に鍛えることができます。



また、AIが利用者様ごとの運動能力を分析。その人に合わせた歩行トレーニングにより有用な筋肉を鍛えます。



インカムの導入を推進中

職員同士で速やかに連絡を取ったり、全員に情報共有したいケースが多くありますが、時間と手間がかかることが課題でした。その課題を解消するためにインカム（通信装置）を導入。

職員からは「全員に伝達できるため、担当者を探しに動き回る必要がなくなった」「利用者様のそばを離れることなく他職員の助けを呼ぶことも可能になった」と高評価です。

また、新人職員等が1人では判断できないことも、質問を投げかければすぐに返答をもらうことができるなど、情報の伝達がスムーズに行われるようになりました。



「歩行分析AIアプリ」の導入

歩行分析AIアプリの導入を一部の事業所でスタート。スマートフォンやタブレットで歩行の動画を撮影するだけで、転倒リスクに関する4つの指標でAIが歩行を解析してくれます。個々のデータは誰でも理解しやすい情報シートになるので、利用者様やご家族、ケアマネージャーとの情報共有ツールとなります。

明日の安心を準備する。 「災害に備える」 平成会の取り組み。

なによりも命を守ること。社会福祉法人として絶対におろそかにしてはいけない約束事です。ケアの提供と同様に、安心・安全の提供を実現するため、万が一の時に全職員が迅速・適切に動けることを目指し、さまざまな災害を想定した訓練を全施設・事業所で定期的実施しています。



大規模災害の発生も想定した「各種防災訓練」の実施

夜間に火災が発生した想定での総合防災訓練や、大規模災害時のための情報伝達訓練、さらに南海トラフ地震を代表とする巨大地震を想定した訓練等を定期的・継続的に実施しています。万が一の時に、緊急時のフローチャートに沿って全職員が迅速・適切に動けることを目指しています。



ともに備える

水害対策・大雨災害対策「合同訓練」

2020年から毎年行っている「大雨災害対策合同訓練」は、県内各地で大規模・小規模の複数施設を運営する平成会だからこそできる、また必要不可欠な防災訓練と位置づけています。訓練実施エリアを毎年変えながら行っています。近隣にある複数の施設間で職員同士が連携して動き、別の施設へ利用者様を避難させるなど、施設規模の大小にかかわらずすべての利用者様の安全を守るように考えています。



災害現場を積極的に支援し、その経験を平成会にフィードバック「能登半島地震災害派遣」

2024年1月1日に発生した能登半島地震。平成会では、厚生労働省などからの応援要請を受け、災害発生当初から現地へ職員を派遣する被災地支援を行いました。1～3月にかけては10名の介護職員が順次、いしかわ総合スポーツセンターと能登町内の福祉避難所で活動しました。

災害時の高齢者、障がい者ケア支援を通じて、地域に貢献するため、災害派遣福祉チーム「DWAT（ディーワット）」に登録している職員もいます。



ガイドラインに基づく 非常食の備蓄

非常用食品と、非常時炊き出しの必要備品を備蓄。非常用食品は、全ての入所系事業所の入所者数を対象に、3日・9食分の備蓄があります。定期チェックが行われ管理されています。



炊き出し用鍋「まかないくん」

大容量の炊き出し用寸胴鍋「まかないくん」が大型事業所（10事業所）に備えられています。ライフラインが止まった場合でも、灯油や薪で火をおこし、備蓄している食料を利用することができます。



地域の防災啓発

地域の消防署のご協力をいただき、平成会の施設にて、地域の方も参加しての「体験車による地震体験」や「煙体験ハウスによる火災煙体験」を開催。このようなリアルな体験ができる機会を定期的に行っていきます。



「新しい介護の職場」を
目指すのが平成会スタイルです。



働く人の笑顔が、利用者様の笑顔を生み、利用者様からの感謝はスタッフの笑顔と働きがいを生む。そんな優しい好循環があふれる職場を、平成会は法人全体で目指しています。

仕事と家庭、趣味の両立

楽しく、働きがいのある介護の職場を目指す

●定時退勤があたりまえの職場

平成会では、スタッフ一人ひとりが健康でいきいきと働ける環境づくりを大切にしています。業務の効率化や人員配置の工夫により、残業のない働き方を推進し、仕事と暮らしの両立を支援しています。

●有給休暇100%取得を励行

休暇や休養は、健やかに働き続けるために欠かせない大切な時間です。平成会では有給休暇の100%取得を推進し、働きやすい職場環境づくりと意識改革に取り組んでいます。

子育てを応援！パパでもママでも育休取得

平成会には、男女ともに育児休業を取得できる、働きやすい職場環境があります。男女関係なく、子育て中の職員も長く活躍できる職場を目指して、法人を挙げて取り組んでいます。

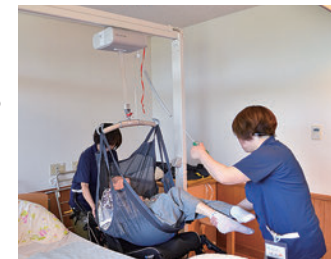
「腰が痛い」と嘆くスタッフをなくしたい！

つらい姿勢や作業をサポートしてくれる

先端機器を積極的に導入

●介護リフト

車椅子などへの移乗での体への負担を介護リフトが大幅に低減してくれます。男女の体格差も気にならなくなります。



●マッスルスーツ

つらい姿勢や作業をサポートしてくれるマッスルスーツは、腰の負担を平均33%軽減するとされています。フリーサイズのため、男女・体格を問わず使用できます。背負ってベルトを締めるだけで装着も簡単で、軽量なので歩いたりしゃがんだりと動きの多い現場でも活躍します。また、洗濯が可能という点から、入浴介助でも使用できます。



◎SSさん（介護老人保健施設わか）
第2子出産にあたり長男の世話などで協力しなければ！と、初めての育休！

育児休業前は息子（第1子）も何かと「ママがいい」と言いましたが、育休中にお互いもっと親密になり、生まれたばかりの2人目の成長を感じながらの充実した時間でした。実は、育休取得には抵抗がありましたが、育休経験のある先輩のすすめもあり決心。仕事から離れて家族とゆっくり過ごすという貴重な経験ができました。



◎MWさん（介護老人福祉施設さわらび）
第4子の育休取得。
育休4回目は平成会職員で初です！

もともと「出産後も仕事をしたい」と思っていたので、1人目の時から育児休業を取りました。職場復帰の前は、仕事から約1年間離れた不安はもちろんありましたが、電話をもらったり、コロナ禍前は職場に行って相談もできたので、安心して復帰できました。4人目でも安心して育休が取れる職場環境に感謝しています。



※イラストはイメージです。



介護が初めてのビギナーから エキスパートまで対応する、 長野県下随一の研修体制を確立。

“もっと介護のプロになる”を掲げる平成会では、法人内の介護サービス力の向上のため、スタッフの基礎技術や先端技術の修得を支援する各種研修に力を入れています。また、介護の最新事情をテーマにした「市民公開講座」の開催や一般向けの各種介護研修会も実施しています。

働きながら福祉の資格取得を目指す人を全面バックアップ (平成会職員は受講料無料です)

●介護職員初任者研修

介護の入門資格といえる「介護職員初任者研修」は、実務経験を問わず誰でも受講できます。平成会では、実際の現場で介護や看護に従事している職員が講師となり、介護を学ぶための環境がすべて整った充実の体制で支援します。

(一般受講者も受け入れ)



●喀痰(かくたん)吸引等研修

長野県登録研修機関として、喀痰吸引等研修を実施しています。講義はもちろん、シミュレーターや現場で実際に使う機材での演習、施設での実地研修を経験することで、「たんの吸引」「経管栄養」の知識・技術が確実に身につきます。

(一般受講者も受け入れ)



「もっと介護のプロになる」を応援

●最先端ケア修得研修

社会で注目されている主要なテーマを取りあげ、外部からその第一人者を講師に招いたプロフェッショナル研修会を計画的に開催しています。注目のテーマについては一般公開で開催し、情報の地域共有を行っています。



●リーダー研修(職種別研修)

介護現場を支えるリーダーの育成を目的とした各種研修を開催しています。コミュニケーション、ハラスメント、ケアプランなど研修テーマはさまざまです。



●自由参加型「スキルアップ研修」

「介護(ケア技術)についてもっと知りたい」という気持ちに応えるため、興味のある人が自由に参加できる研修会を、就業後の時間を利用して通年で行っています。人気の研修については、一般公開もしています。介護福祉士の国家試験対策講座も自由参加型研修として開催。

地域の皆様へ福祉・介護の学びを発信。各種「市民向け講座・研修会」の開催

地域では多くの方が介護に悩みを持ち、専門の技術が必要としています。日々進化する介護技術を実践する法人スタッフ、また専門家を招いての一般向けの市民講座を開いています。



新人研修・新規採用者研修が充実

新年度の新入職員は入職後、座学から実技研修まで、先輩職員を講師に6日間しっかりと学びます。また、中途採用の職員についても、新規採用者研修を定期的に行っています。

さらに、3か月・6か月・1年・2年・3年と、業務の振り返りを行う「フォローアップ研修」を実施しています。





和気あいあいとした関係性が、
働きやすい職場環境を育んでいます。

韓国・ソウルの旅

互助会の福利厚生事業が充実

忘年会、球技大会、社員旅行など、スタッフに寄り添った働きがいのある職場環境づくりを大切にしています。

1年間の労をねぎらう互助会行事「忘年会」は、施設の垣根を越えた楽しい交流の場

ゲストによるステージや大抽選会など大盛り上がりの忘年会は、互助会が企画運営する一大行事です。仕事から離れ、普段とは異なる和やかな雰囲気の中、自分の施設の職員との親睦だけでなく、施設の垣根を越えた交流を皆が楽しみにしています。



スポーツ交流!

互助会ボウリング大会

老若男女楽しめるスポーツとしてボウリング大会は人気のスポーツイベント交流会です。ボウリングは初めてという外国人職員や、何年もやっていないという職員、そして家族の皆さんと一緒に、各々のペースで楽しめるのが平成会のボウリング大会です。毎回、想像以上に盛り上がるのもスポーツ大会のいいところです。

国内外の旅行企画も

平成会互助会の人気イベントです

人気の国内旅行や話題の海外旅行を互助会が企画提案。参加希望者を募って毎年、楽しい旅行に出かけます。

コロナ禍を経て、現在は海外旅行が復活。「韓国・ソウルの旅」や「台湾の旅」などが人気となっています。国内旅行では、大阪・関西万博など話題の場所に出かけます。また、毎年恒例となっている、東京ディズニーランドとユニバーサル・スタジオ・ジャパンへの旅行は常に人気です。

普段できない体験やおしゃべりが旅先でのなによりの楽しみです。



韓国・ソウルの旅



大阪・関西万博

平成会の互助会とは

平成会の互助会は、750名を超える職員が互いに助け合う、相互扶助を目的とした福利厚生団体です。一般職員が中心となってイベント企画・運営などをする自主的な組織です。



多様な人材で、 少子高齢化時代の 地域社会を支えます。

さまざまな国籍、文化そして個性を持った人々が、自然に相互に理解、尊重し、支え合う共生社会が平成会で育まれています。

介護の現場に新しい風を呼び込む

平成会は、2016 年から海外の留学生を迎え入れ、8 名の介護福祉士が誕生しています。2022 年度から特定技能外国人の受け入れを始め、ミャンマーやインドネシアから来日した多くの人材が、特養、老健、有料老人ホーム、そしてグループホームで活躍しています。職場のリーダーとして大切な役割を担っているメンバーもいます。



海外人材の育成にも力を入れています

平成会では、海外から来日した人材が安心して成長できるよう支援しています。来日直後からの日本語教育に加え、実務者研修を経て介護福祉士資格の取得を目指し、専門職としてのキャリア形成を支援しています。



明るくポジティブな外国人職員は介護現場のムードメーカー！

難しい日本語を熱心に勉強して、利用者様としっかり言葉でコミュニケーションをとることができている外国人職員がほとんどで、大型の施設には、複数人ずつ配属されています。一生懸命さと明るく屈託のない笑顔で、利用者様から人気を得ているスタッフも少なくありません。

多様性を受け入れ尊重するという、介護現場にとって大切な風土が、明るくポジティブな外国人職員がいることで自然と育まれています。



誰もが共生できる地域づくりを目指し 障がい者福祉への取り組みをスタート

2025年11月、平成会は障がい者福祉への取り組みを始めるため、辰野町に就労継続支援B型事業所「あかつき辰野」を開設。高齢者福祉で培ってきた実績を活かし、利用者様の「自立」「共生」「支援の質の向上」を基本方針に障がいを抱える皆様が、住み慣れた場所でより良い生涯を送れるための支援に努めています。



(クリーニング請負業務など、さまざまな就労支援サービス)

長野県内に24拠点

社会福祉法人平成会は塩尻市、松本市、岡谷市、諏訪市、下諏訪町、茅野市、辰野町、箕輪町に介護福祉施設、ケアハウス、グループホーム等を運営。施設は24拠点、55の介護保険サービス、職員総数は約750名です。



■介護老人福祉施設

- 介護老人福祉施設 さわらび（岡谷市）
〒394-0001 岡谷市西山1723-101
TEL.0266-21-1180
- 介護老人福祉施設 松風（岡谷市）
〒394-0055 岡谷市内山4769-548
TEL.0266-21-2200
- 介護老人福祉施設 福寿苑（辰野町）
〒399-0428 上伊那郡辰野町
大字伊那富9501-1
TEL.0266-43-3200

■介護老人保健施設

- 介護老人保健施設 掬水（諏訪市）
〒392-0016 諏訪市豊田837-1
TEL.0266-58-3232
- 介護老人保健施設 わかな（箕輪町）
〒399-4602 上伊那郡箕輪町
大字東箕輪3296-1
TEL.0265-70-1818

■有料老人ホーム

- 有料老人ホーム セセラギ（塩尻市）
〒399-6461 塩尻市宗賀1298-92
TEL.0263-51-6222

■ケアハウス

- ケアハウス なごみ（塩尻市）
〒399-6461 塩尻市宗賀1310-3
TEL.0263-51-5600
- ケアハウス なごみ松本（松本市）
〒399-0011 松本市寿北5-34-23
TEL.0263-85-0101

■養護老人ホーム

- 養護老人ホーム 岡谷和楽荘（岡谷市）
〒394-0000 岡谷市2916-4
TEL.0266-22-4057
- 茅野市養護老人ホーム 寿和寮（茅野市）
〒391-0013 茅野市宮川5010-1
TEL.0266-71-1610

■小規模多機能型居宅介護

- 小規模多機能型居宅介護事業所
となりの縁側 おかだ（松本市）
〒390-0313 松本市岡田下岡田85-1
TEL.0263-50-8100

■グループホーム

- グループホーム さとび（塩尻市）
〒399-0711 塩尻市片丘道下11146
TEL.0263-51-6310
- グループホーム なごみ（松本市）
〒399-0011 松本市寿北5-34-23
しのめ TEL.0263-85-0775
あかね TEL.0263-85-5171
- グループホーム おかだ（松本市）
〒390-0313 松本市岡田下岡田84-イ
TEL.0263-31-0663
- グループホーム さわらび（岡谷市）
〒394-0001 岡谷市西山1723-101
TEL.0266-21-1113
- グループホーム 風薫（岡谷市）
〒394-0033 岡谷市南宮3-3-33
TEL.0266-21-1211
- グループホーム 縁（下諏訪町）
〒393-0000 諏訪郡下諏訪町社
字五反田7618-1
TEL.0266-26-0170

- グループホーム わかな（箕輪町）
〒399-4602 上伊那郡箕輪町
大字東箕輪3296-1
TEL.0265-70-8880
- グループホーム 寿和寮（茅野市）
〒391-0013 茅野市宮川5010-1
TEL.0266-71-1622
- グループホーム 歩歩清風（辰野町）
〒399-0428 上伊那郡辰野町
伊那富字大原9704-1
TEL.0266-43-2265

■居宅介護支援

- 居宅介護支援事業所 湯けむり（岡谷市）
〒394-0033 岡谷市南宮3-3-8
TEL.0266-24-2006
- 居宅介護支援事業所 セセラギ（塩尻市）
〒399-6461 塩尻市宗賀1298-92
TEL.0263-51-6222
- 居宅介護支援事業所 寿和寮（茅野市）
〒391-0013 茅野市宮川5010-1
TEL.0266-71-1610
- 居宅介護支援事業所 なごみ松本（松本市）
〒399-0011 松本市寿北5-34-23
TEL.0263-85-0266
- 居宅介護支援事業所 掬水（諏訪市）
〒392-0016 諏訪市豊田837-1
TEL.0266-58-3232
- 居宅介護支援事業所 福寿苑（辰野町）
〒399-0428 上伊那郡辰野町
大字伊那富9501-1
TEL.0266-43-3201

■通所介護事業所

- 通所介護事業所 無暦日庵（塩尻市）
〒399-0711 塩尻市片丘道下11146
TEL.0263-51-6800
- 温泉デイサービス 湯けむり（岡谷市）
〒394-0033 岡谷市南宮3-3-8
TEL.0266-24-2006
- 認知症対応型デイサービスセンター
なごみ（松本市）
〒399-0011 松本市寿北5-34-23
TEL.0263-85-0118

■通所サービス

- 通所リハビリテーション 掬水（諏訪市）
〒392-0016 諏訪市豊田837-1
TEL.0266-58-3232

- 通所リハビリテーション わかな（箕輪町）
〒399-4602 上伊那郡箕輪町
大字東箕輪3296-1
TEL.0265-70-1818
- デイサービスセンター さわらび（岡谷市）
〒394-0001 岡谷市西山1723-101
TEL.0266-21-1180

■訪問サービス

- 訪問リハビリテーション 掬水（諏訪市）
〒392-0016 諏訪市豊田837-1
TEL.0266-58-3232
- 定期巡回随時対応型事業所 寿和寮（茅野市）
〒391-0013 茅野市宮川5010-1
TEL.0266-71-1610
- ヘルパーステーションセセラギ（塩尻市）
〒399-6461 塩尻市宗賀1298-92
TEL.0263-51-6222
- ヘルパーステーション和楽（岡谷市）
〒394-0000 岡谷市2916-4
TEL.0266-22-4057
- ヘルパーステーション寿和寮（茅野市）
〒391-0013 茅野市宮川5010-1
TEL.0266-71-1610

■障がい者支援事業

- 身体障害者デイサービス事業 和楽（岡谷市）
〒394-0000 岡谷市2916-4
TEL.0266-22-4057
- 特定相談支援事業・障害児相談支援事業
いほく相談支援事業所（辰野町）
〒399-0428 上伊那郡辰野町大字伊那富9501-1
TEL.0266-43-3208
- 就労継続支援B型事業所 あかつき辰野（辰野町）
〒399-0425 上伊那郡辰野町大字樋口2434-1
TEL.0266-78-3562

■介護予防事業

- トレーニングセンター 湯けむり（岡谷市）
〒394-0033 岡谷市南宮3-3-8
TEL.0266-22-1123

■介護人材育成事業

- 長野県登録研修機関
平成会研修センター（塩尻市）
〒399-6461 塩尻市宗賀1298-92
TEL.0263-53-1151